令和8年度　年間授業計画

教　科：芸術　　科　目：書道Ⅰ　　単位数：2

対象学年：第1学年

使用教材	教科書：	書Ⅰ（光村図書）
	補助教材：	なし

教科（　芸術　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに，意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり，芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い，豊かな情操を培う。

科目（　書道Ⅰ　）の目標

【知　識　及　び　技　能】	書の表現の方法や形式、多様性について幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

令和8年度　年間授業計画　科目（　書道Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
				漢仮	漢	仮						
1学期	単元	楷書　孔子廟堂碑	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	10
	知識及び技能		指導事項					知識・技能				
	用具,用材の特徴と表現方法のかかわりを理解できるようにする。		虞世南について　臨書					用筆用材の特徴と書体書風を理解できる				
	思考力、判断力、表現力等		教材					思考・判断・表現				
	古典の書体や書風に即した用筆運筆字形全体の構成を理解できるようにする。		教科書等					古典の書風に即した表現ができる				
	学びに向かう力、人間性等		一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたり書を愛好する心情と感性を高め書の伝統と文化に親しむことができるようにする。		作品の記録をする					授業中の課題の完成度などを通して、主体的かつ積極的に取り組むことができる				
	単元	九成宮醴泉銘	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能		指導事項					知識・技能				
	用具,用材の特徴と表現方法のかかわりを理解できるようにする。		欧陽詢について　臨書					用筆用材の特徴と書体書風を理解できる				
	思考力、判断力、表現力等		教材					思考・判断・表現				
	古典の書体や書風に即した用筆運筆字形全体の構成を理解できるようにする。		教科書等					古典の書風に即した表現ができる				
	学びに向かう力、人間性等		一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたり書を愛好する心情と感性を高め書の伝統と文化に親しむことができるようにする。		作品の記録をする					授業中の課題の完成度などを通して、主体的かつ積極的に取り組むことができる				
	単元	雁塔聖教序	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能		指導事項					知識・技能				
	用具,用材の特徴と表現方法のかかわりを理解できるようにする。		褚遂良について　臨書					用筆用材の特徴と書体書風を理解できる				
	思考力、判断力、表現力等		教材					思考・判断・表現				
	古典の書体や書風に即した用筆運筆字形全体の構成を理解できるようにする。		教科書等					古典の書風に即した表現ができる				
	学びに向かう力、人間性等		一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたり書を愛好する心情と感性を高め書の伝統と文化に親しむことができるようにする。		作品の記録をする					授業中の課題の完成度などを通して、主体的かつ積極的に取り組むことができる				

令和8年度　年間授業計画　科目（　書道Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
2学期	単元　顔氏家廟碑	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○		○	次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	用具,用材の特徴と表現方法のかかわりを理解できるようにする。	顔真卿について　臨書					用筆用材の特徴と書体書風を理解できる				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	古典の書体や書風に即した用筆運筆字形全体の構成を理解できるようにする。	教科書等					古典の書風に即した表現ができる				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたり書を愛好する心情と感性を高め書の伝統と文化に親しむことができるようにする。	作品の記録をする					授業中の課題の完成度などを通して、主体的かつ積極的に取り組むことができる				
	単元　行書　蘭亭序	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	用具,用材の特徴と表現方法のかかわりを理解できるようにする。	王羲之について　臨書					用筆用材の特徴と書体書風を理解できる				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	古典の書体や書風に即した用筆運筆字形全体の構成を理解できるようにする。	教科書等					古典の書風に即した表現ができる				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたり書を愛好する心情と感性を高め書の伝統と文化に親しむことができるようにする。	作品の記録をする					授業中の課題の完成度などを通して、主体的かつ積極的に取り組むことができる				
	単元　風信帖	指導項目に対し、次の教材等を活用する。		○			次の観点別評価規準に従い評価する。	○	○	○	8
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	用具,用材の特徴と表現方法のかかわりを理解できるようにする。	空海について　臨書					用筆用材の特徴と書体書風を理解できる				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	古典の書体や書風に即した用筆運筆字形全体の構成を理解できるようにする。	教科書等					古典の書風に即した表現ができる				
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたり書を愛好する心情と感性を高め書の伝統と文化に親しむことができるようにする。	作品の記録をする					授業中の課題の完成度などを通して、主体的かつ積極的に取り組むことができる				

令和8年度　年間授業計画　科目（　書道Ⅰ　）

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			鑑賞	評価規準	知	思	態	配当時数
			漢仮	漢	仮						
3学期	単元　仮名	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	用具,用材の特徴と表現方法のかかわりを理解できるようにする。	高野切第三種について					用筆用材の特徴と書体書風を理解できる				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	古典の書体や書風に即した用筆運筆字形全体の構成を理解できるようにする。	教科書等			○	○	古典の書風に即した表現ができる	○	○	○	10
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたり書を愛好する心情と感性を高め書の伝統と文化に親しむことができるようにする。	作品の記録をする					授業中の課題の完成度などを通して、主体的かつ積極的に取り組むことができる				
	単元　漢字仮名交じり文	指導項目に対し、次の教材等を活用する。					次の観点別評価規準に従い評価する。				
	知識及び技能	指導事項					知識・技能				
	用具,用材の特徴と表現方法のかかわりを理解できるようにする。	漢字とかなの調和した字形					用筆用材の特徴と書体書風を理解できる				
	思考力、判断力、表現力等	教材					思考・判断・表現				
	古典の書体や書風に即した用筆運筆字形全体の構成を理解できるようにする。	教科書等	○				古典の書風に即した表現ができる	○	○	○	10
	学びに向かう力、人間性等	一人１台端末の活用場面					主体的に学習に取り組む態度				
	生涯にわたり書を愛好する心情と感性を高め書の伝統と文化に親しむことができるようにする。	作品の記録をする					授業中の課題の完成度などを通して、主体的かつ積極的に取り組むことができる				
											合計
											70